

法人（事業所）理念	児童一人ひとりが、普段の生活の中で個性を活かし得意分野を見つけ伸ばしていけるような学習支援、運動支援の他に様々なイベントを通し、社会に触れながら集団行動の大切さや興味分野を広げるような場を提供する。					
支援方針	一人ひとりが、将来を見据え「ゆとり」をもって「自分らしく」「充実した」日常を過ごせるために、5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を含めた総合的な支援実施。					
営業時間	(学校登校日) 10時～19時	(学校休業日) 9時～18時	<table border="1"> <tr> <td>送迎実施の有無</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> </table>	送迎実施の有無	あり	なし
送迎実施の有無	あり	なし				
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>(整理整頓)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓をするタイミングを事前に知らる時間を設ける。</li> <li>・一人ひとり専用の荷物の置き場を設置する。</li> <li>・帰宅時、降車等の際に自身の持ち物の確認をするよう声掛けを行っていく。</li> </ul> <p>(衛生管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いやうがい等を行うタイミングを1日のスケジュールの中で視覚的に提示、または声掛けをする事で習慣化と意識づけを行っていく。</li> </ul> <p>(時間管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時計やスケジュール表を視覚的に提示したり、時間の経過を知らせたりしながら、何をすべきか自身で考える時間を設けていく。</li> </ul> <p>(食育/調理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理イベント、お買い物等を行う中で、様々な食材、調理道具をスタッフと共に実際に使用し、取り扱い方法を学ぶ中で、栄養面やフードロス等に関する食育の教育を行っていく。</li> </ul>				
	運動・感覚	<p>(基礎体力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントを通して、楽しく運動をする中で、運動への苦手意識を少なくしていく。また、運動をすることにより筋力や体力が身につくようにしていく。</li> </ul> <p>(粗大運動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士を中心として、運動に必要なバランス感覚やリズム感を刺激していく支援を行う。</li> </ul> <p>(微細運動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工作イベント、書道等を通して、楽しみながら指先を使った細かい作業に慣れ、集中力、忍耐力を高めていく。</li> </ul>				
	認知・行動	<p>(思考力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング、学習等を通して、物事を順序立てて考えることができるようにしていく。グループ活動を通して、相手の意見を踏まえた自身の考えが持てるようにしていく。</li> </ul> <p>(表現力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動の中で、自身の考え、気持ちが表現しやすい場を設け、無理なく自然と表現できるようにしていく。</li> <li>・また、児童同士のコミュニケーションの場に置いても、相手の気持ちや、周囲の状況を考え、行動、発言が出来るよう助言、声掛けを随時行っていく。</li> </ul> <p>(判断力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、遊び等の中で様々な選択肢を与え、自身で考え選択することができる場を多く作り、自身が選択した事柄に関しては最後まで責任をもって行動するよう声掛けを行っていく。</li> </ul> <p>(解決行動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で、困ったことがあった際には、すぐに手を差し伸べるのではなく、自身で問題解決に向け考える時間を与え、その後、声掛け、助言等を行い、問題解決の糸口を与え少しずつ自身で問題を解決できるよう支援していく。</li> </ul>				
	言語 コミュニケーション	<p>(語彙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙や言い回しの意味について調べたり、活動の中でスタッフと一緒に使用したりしながら支援していく。</li> </ul> <p>(聞く/話す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を最後まで聞くことの大切さを普段の活動の中から伝えるようにしていく。会話の内容にあった受け答えが出来ていなかった場合には、スタッフと共に振り返る時間を設ける。</li> <li>・相手に不快感を与える伝え方になってしまった場合には、随時声掛けを行い、どのように言い伝えるべきか、事例をあげて説明をしていく。</li> </ul> <p>(受容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を優先したり、賛成したりする事を活動の中で要求しながら、受容的な考え、行動を養っていき、他者に合わせて意見を変える事ができた際には声掛けをし、本人が気づけるようにする。</li> </ul> <p>(推察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動の中から、他者の態度の変化や表情を気に掛けるよう心掛ける事を促し、実際に他者と触れ合う中で他者の気持ち、場の雰囲気を感じ取ることを学んで行く場を設けていく。</li> </ul>				
	人間関係 社会性	<p>(規範意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所や外出先でのルールについて事前に確認する時間を設ける。</li> <li>・ルールを守る事の大切さ、ルールを守らなかった時の危険性等を具体例をあげて説明する場を設ける。</li> </ul> <p>(協調性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等を通してグループ活動やペアになって活動しながら、他者との関わりを経験する場を設ける。</li> </ul> <p>(役割理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等を通して、グループのリーダーとしての役割、またはリーダー以外の与えられた役割を繰り返し経験させながら、年齢相応に求められる判断力や責任能力を養っていく。</li> </ul> <p>(関係調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動の中で他者と意見が衝突する場面には適度にスタッフが仲介し解決に向けて助言をしていく。</li> </ul>				
家族支援	ご家庭内や学校についての相談をお聞きし、育児負担やストレスを軽減する為に、モニタリングとは別に学校の懇談会等の後に相談支援をする時間を設け、聞き取りやアドバイスを実施。また必要であればペアレントトレーニングを提案。	移行支援	新しいクラスや、小学校、当事業所を卒業した後、初対面の人との人間関係の構築や初めての場所、場面等において順応できるよう、様々なイベントを実施し、事業所外の人とのふれあいを実施する。			
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携。 ・学校や併用利用先との情報共有を実施。	職員の質の向上	事業所内研修、外部研修を受講し支援の質の向上を目指す。			
主な行事等	工作、クッキング、タイピング、運動（野球、サッカー等）、SST、社会見学（外出イベント等）					